

2021

北東アジア交流の翼inしまね

島根県参加者報告

寺田彩乃

梅光学院大学 4年



参加のきっかけ

島根県と友好交流を行っている地域について知り、その国の友人を作りたいと思い参加を決めました。

楽しかったこと

参加青年との意見交換

“コロナが終わったらやりたいこと”について話した際、今まで当たり前だったことが懐かしいと盛り上がりました。お互いの国に行き、直接会いたい気持ちを共有することができました。



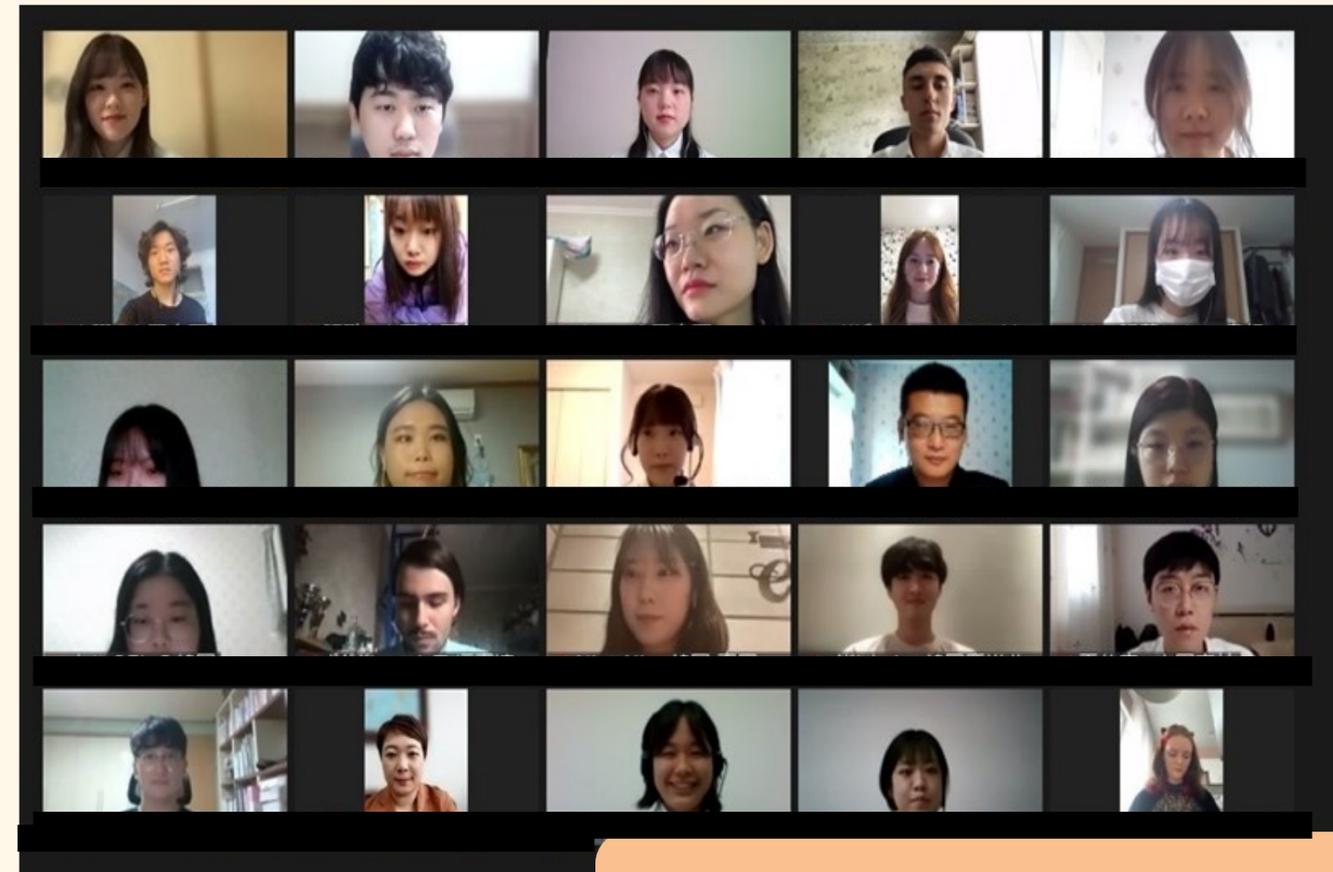
第4回 意見交換

感じたこと

交流を続けることの意義

参加者がいるからこそ成り立つ事業であると実感し、コロナ禍であっても未来のために交流を途絶えさせないことが大切だと思いました。

お互い友好交流地域として結ばれていることを理解しながら交流できていたのなら嬉しいです。



第1回 開会式

得たもの

日中露の友人ができ 興味の幅が広がりました

韓国語専攻の私にとって韓国は今まで身近な国でしたが、参加青年が住む地域への関心が深まりました。また、この事業を機に以前から興味があった中国語を始めようと思い、教材を買いました！ロシアについても最近観光動画をよく見えています。いつか実際に行ってみたいです！



第4回 記念撮影

これからの 自分について

卒業後島根県に戻ります！

大学で韓国語や日本語教育について学んだので、その知識を島根での国際交流のために役立てたいです。

しまね国際センターのイベントに参加したり、日本語ボランティアに登録したりして、今後は自ら在住外国人の方とも関わっていくつもりです。